

## 市長直下から部へ配置することに対するメリット・デメリット

追加資料

	メリット	デメリット
秘書課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長の権限を越える決裁は、副市長であったが、部の中に置くことで、速やかな事務処理を図れる。</li> <li>・業務に関連が深い部に移管することで、部長の指揮命令のもとに、各部において他所属との連携を強め、一体的に業務を行うことができる。 (ほう賞や表彰などの業務も行っており、業務上、行政管理部門に関連がより深い。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長からの指揮命令系統が複雑になる。 (間接的となる。)</li> </ul>
広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長の権限を越える決裁は、副市長であったが、部の中に置くことで、速やかな事務処理を図れる。</li> <li>・業務に関連が深い部に移管することで、部長の指揮命令のもとに、各部において他所属との連携を強め、一体的に業務を行うことができる。 (施策全体を把握している都市経営室と連携ができ、より効果的な広報及び広聴の推進を図れる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長からの指揮命令系統が複雑になる。 (間接的となる。)</li> </ul>
東京事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長の権限を越える決裁は、副市長であったが、部の中に置くことで、速やかな事務処理を図れる。</li> <li>・業務に関連が深い部に移管することで、部長の指揮命令のもとに、各部において他所属との連携を強め、一体的に業務を行うことができる。(中央省庁等との連絡や情報収集などにあたり、全庁的な行政の事務全般に関連するため。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長からの指揮命令系統が複雑になる。 (間接的となる。)</li> </ul>